

鶴財第409号

令和元年8月23日

各部長
各課長 } 様

鶴ヶ島市長

令和2年度予算編成方針について（通知）

令和2年度は、第6次鶴ヶ島市総合計画の初年度であることから、新たに掲げる市の将来像の実現に向けたスタートを切る重要な年度である。

そこで、別紙のとおり令和2年度予算編成の基本となる予算編成方針を定めたので、これを念頭に置いて、常に国等の動向に注視しながら、柔軟かつ新たな視点を持って予算編成作業に取り組まれない。

令和2年度予算編成方針について

1 重点的な取組

次期総合計画を見据え、次の3点について重点的に取り組むこと。

(1) 子どもにやさしいまちづくり

待機児童ゼロの継続や、家庭環境等に様々な問題を抱える家庭・子どもへの支援など、安心して子どもを産み、育てられる切れ目のない支援を推進する。

効果的な教育環境の整備等により、教育・学習の質的な充実を図り、児童・生徒の学習意欲の向上や、一人ひとりの可能性を広げる教育を推進する。

(2) 多様な働き方が実現できるまちづくり

新たな産業と居住の受け皿を整え、多様な担い手の活躍を促進することで、職住近接のまちづくりを推進する。

市内企業との連携や、地域資源を活用した産業の振興など、賑わいと活力の創出を推進する。

(3) いつまでも健康でいられるまちづくり

生涯にわたり元気でいきいきと安心して暮らすことができるよう、あらゆる世代の活躍の場づくり、健康づくりの環境整備、地域の支えあいの促進など、人生100年時代を見据え、健康長寿に向けた取組を推進する。

2 財政的課題の共有

既に示している、「令和2年度予算編成における留意事項について(通知)」(令和元年6月24日総合政策部長通知)を十分に踏まえ、全職員が市の財政上の課題を共有した上で予算編成作業を行うこと。